

# 都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

## 「お金との付き合い方」 教えます！

静岡県金融広報委員会  
竹下 陽子

当委員会では、小さいころからの金銭教育の重要性が増している状況を踏まえ、数年前から児童・生徒・学生向けの「おかねの講座」を積極的に展開しています。

その一環として、対象者層別（小学生・中学生・高校生・大学生）

の具体的なテーマ例と実際の講座の風景写真を掲載した親しみやすいチラシを作成し、市町の担当部署に配付するなど、地道にPR活動を行っています。

この結果、小学生の児童クラブから多数の講座依頼を頂戴するようになったほか、最近では、特別支援学校から講師派遣依頼をいただくケースも増えています。

一方、活動の中心を担っていただいている金融広報アドバイザーの方々は、定期的に意見交換の場

を設け、成功事例や留意点について情報共有を図るなど、レベルアップに取り組んでいます。また、対象者のレベルに合わせた資料やツールの作成にも努めています。

こうした取り組みもあって、小学生の受講者からは「お金は使ったらなくなるのがわかった」「おこづかい帳をつけながら、お金の使い方を勉強したい」といった感想が数多く寄せられています。

今後も、お金との上手な付き合い方を多くの皆様に学んでいただ

## 金融経済講座の 集客作戦！

宮崎県金融広報委員会  
黒木 真由美

当委員会では、「金融知識の普及の一環として、「暮らしに役立つ金融経済講座」を毎年度（二～五回）開催しています。今年度は、暮らしに身近なお金の情報」を主要テーマに、当委員会所属の金融広報アドバイザーの方々に講師を務めていた

いただきました。

これまででは、PR不足のせいもあってか、参加者は定員に程遠い状況でした。今年度は、この状況を打開すべく、PR力向上のため、次の三つの作戦に取り組みました。

① 広告用チラシの刷新。平面的なチラシから講座内容に興味をもってもらえるようビジュアルに訴えるチラシに全面改訂。

② 従来の新聞広告だけでなく、新たに地元のコミュニティ紙にも広告掲載を依頼。

③ テーマに合わせ開催時期を設定。例えば、税金に関する講座は、確定申告前の十一月に開催、家計簿記帳に関する講座は、新年から始めやすいよう十二月に開催など。

こうした取り組みが実を結び、参加申込みをお断りしなくなりました。また、講座終了後に実施しているアンケートから、「役に立った」「もっと聞きたかった」という嬉しい回答も増えてきました。

今後も、アンケートの結果を参

けるよう、当委員会の活動を積極的に展開していきたいと思えます。



金融広報アドバイザー研修会の模様(左から2番目が竹下さん)

考にするとともに、日ごろからアンケートを高くし、金融経済動向、法改正などの情報の収集に努め、宮崎県民の方々に「暮らしに身近なお金の情報」を中立・公正な立場から届けることに励んで参りたいと思えます。

